

平成22年 新年互礼会 寺田支店長年頭挨拶 (1月4日)

清水建設株式会社 九州支店

執行役員支店長 寺田 修

みなさん新年明けましておめでとうございます。

新しい年になり、みなさんもお正月を大いに楽しんでお過ごしになられたことと思いますが、私も家族とともに過ごしました。東京は正月3が日とも天気が良くて、自宅が多摩川沿いにあるため、初日の出を拝むことができ、新たな気持ちで今年の業績の向上とみなさんのご多幸をお祈りいたしました。日本には、二十四節気のように季節の区切りがあり、いろいろな季節感とともに気分の切り替えができて非常にいいことだなとつくづく感じました。そういう中で、新年を迎えて、新たな気持ちで今年もみなさんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

今年はどういう年になるのでしょうか。世界に目を向けると、2月にバンクーバーで冬季オリンピック、5月には上海万博、6月には南アフリカでワールドカップサッカーが開催されるということで、非常に活気のある年になるのではないかと思います。また、国内では平城遷都1,300年という区切りのいい年であり、一つの転機としては参議院議員選挙があり、今の混迷の政局がどうなっていくのかが関心事でもあります。翻って、我々の建設業界がどういう状況にあるかはみなさんが身を持って体感されている通りですが、我々の業界の景気もすぐには回復することは無さそうな状況です。そんな中で、みなさんとともにどういうことをやっていかないといけないかが大事になってきます。

一点目に、昨年末、日本経済新聞に福井前日銀総裁の「大国の衣を脱いで闘え」という記事が掲載されて、みなさんの中にも読まれた方もおられると思いますが、今はそういう時代になってきたということです。とにかく戦い抜いて勝ち抜いていかななくてはならないという

時代です。みなさんと一緒になって、そういう時代をなんとか乗り切っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

二点目は、そういう時代だからこそ、来るべき時代に向けて力を蓄えるということです。正月にある人と話をしている、「人間は摂取して、蓄積して、消化する」という話をしていましたが、我々は今まで蓄積してきたものを消化し続けてきたような気がします。新しい時代を迎えるにあたっては、新しいものを蓄積しないといけないということです。もちろん戦いながら蓄えていくことはとても難しいことですが、この時代が終わって来るべき時代には、みなさんとともに一歩抜きん出た姿を見せることができると期待しています。みなさんと、諦めずに前を向いて夢を持って、来るべき時代に備えて力を合わせて行きたいと思います。

三点目に、去年は「共生」ということを申しあげましたが、みなさんと私たちが何で結ばれているかと言うと、信頼関係ということが一番大事になります。こういう時代だからこそ、信頼関係をきちっと築きあげていくことが大切です。我々の会社が200年続いてきたのも、みなさんとの信頼関係を勝ち得た結果です。厳しい時代になればなるほど、みなさんと本音で話し合っ、信頼関係を更に深くして、この厳しい時代を乗り切っていきたいと思います。

最後になりましたが、本日は本当にお忙しい中、お集まり頂きまして有難うございます。今年一年もみなさんと一緒に歩んで行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本日は誠に有難うございました、